



学校だより 10月号

～和・希望・自立～

令和3年10月1日
福岡県立久留米聴覚特別支援学校

～見て、触れて、食べて 季節を感じて～

校長 池添 昌和

日中はまだまだ日差しが厳しいものの、朝夕は随分過ごしやすくなりました。「暑さ寒さも彼岸まで」ということわざがありますが、当たり前である季節の変わり目でさえ、そのように感じられることにほっとする気持ちになるのは私だけでしょうか。本校の敷地内を歩いてみると季節ごとに様々な花が咲き、子どもたちが大事に育てている植物を楽しむことができます。そして、子どもたちが見たり、触れたり、時には食べることにより季節を感じてもらいたいという思いから、様々な果樹が植えられています。この季節、東門近くにある大きな栗の木をはじめ、柿や橙の木にはたわわに実がなっています。また、ご家庭の食卓には秋の様々な味覚が並べられ、子どもたちとともに楽しまれていることと思います。そのような時も子どもたちには発見の場であり、楽しい思い出となります。



さて、現在、新型コロナウイルスの感染状況は改善傾向が見られ、本県に出されていた特別警戒警報も30日をもって解除となりました。コロナの脅威が去ったわけではないのですが、私たち一人ひとりが少し明るい気持ちになっているのは確かです。しかしながら、これまでの経験から少しでも油断をすれば、再び感染症拡大につながることを大人のみならず子どもたちもよくわかっています。引き続きこれまでと同様に「密」を避ける方策をとりながら感染症対策を徹底していくことが必要です。とは言え、今後の感染状況の推移にもよりますが、今学期に予定している行事等については実施の方向で進めていきたいと考えています。学校としては保護者の皆様のご理解とご協力を得ながら、これまで以上に感染症対策の徹底を図った上で教育活動を継続して参りますので、今後ともよろしく申し上げます。

【生徒指導部・情報教育部より】

18歳未満の子どもにおける SNS を通じた被害は増加の一途をたどり、ネット依存症が疑われる中高生も増加しています。これは、スマートフォンを持つ中高生が大幅に増えたことや、インターネットを利用するゲームの普及などが大きな要因のようです。本校では、主に中学生を対象に情報モラル学習会を毎学期に1回実施していますが、ご家庭においても、「我が家のスマホ・ケータイのきまり」を作るなど、情報機器を安全に使いこなすことについて話題にしてみてください。



～優秀賞!少年の主張福岡県大会～



中学部では自立活動の学習で、生き立ちや将来のことなど、聞こえない自分自身についての考えをまとめ、校内弁論大会で発表しています。学校代表として選出された犬塚優璃さんの弁論「伝えたい 私の気持ち」が、「少年の主張福岡県大会」において、見事優秀賞を受賞しました。職場体験を通じて、聴者とのコミュニケーションについて考え、今後の自分を展望した素晴らしい弁論でした。



～ランドセルの寄贈～



全日本ろうあ連盟を通じて、ボークル&手話パフォーマー「HANDOSIGN(ハンドサイン)」と「ラルフローレン×フジ・メディア・ホールディングス」が共同企画し、来年度小学1年生になるろう学校幼児の希望者に、ランドセルの寄贈が行われました。贈呈式では、福岡県聴覚障害者協会の太田事務局長から、らいおん組の幼児へ大きなランドセルが手渡されました。来春の入学が待ち遠しいですね。



新しい先生の紹介



みちこ
川口 倫子先生
(小学部)



のぞみ
西田 望美先生
(幼稚部)



【10月の行事予定】

- 1日 (金) 幼：わくわくチャレンジデー
- 4日 (月) 教育実習開始(～22日) 保護者中級手話教室
- 6日 (水) 小6：中学部体験入学
- 8日 (金) 幼：秋の遠足 漢字検定・英語検定
- 11日 (月) 外部専門家活用事業
- 12日 (火) 幼3：小学部体験入学
- 13日 (水) スクールカウンセリング ひよこ組茶話会
- 14日 (木) オリジナル・パラリンピック講演会(講師：早瀬久美さん)
- 15日 (金) 幼：身体測定 中3：福岡高等聴覚特別支援学校説明会
- 18日 (月) 幼小中：交通安全教室 保護者中級手話教室
- 20日 (水) ひよこ組：幼稚部参観 小：秋まつり
- 25日 (月) 保護者初級手話教室 外部専門家活用事業
- 27日 (水) 地震・火災避難訓練
- 28日 (木) スクールカウンセリング
- 29日 (金) 中：授業参観・相談会 保護者教室

